



「サンバル」で泳ぐ子どもたち

問 三月議会でサンバルについて、種々指摘がされたが、真剣に協議しているか。

答 合併時、管理運営について地方自治法二四四条に基づいて条例を定め、違反した場合の条項もある。スイミングサークル桜川が継続的に使用しているが、使用時間に条例違反がある。条例は遵守すべきではないか。条例の不備もあり改正すべきではないか。

答 教育長 近隣の類似施設の状況及び費用経費について担当者レ



川那子秀雄 議員

条例違反がある 条例改正を

ベルで協議しているところ。条例、規則の見直しについては、今、準備を進めているところ。準備を進めているところ。準備を進めているところ。

問 維持管理費ということから石油が高騰している。財政が許さない部分があるか。

答 教育次長 三月までの見込みで決算額が二八〇一万の支出、入場使用料が五九九万となっており、重油の本年の価格動向ですが、このまま推移しますと、五〇〇万台に行くと思定されます。

問 条例に定めのない使用料は無料に星の宮さんから一〇〇円徴収しているというが、条例に定めがない。無料にすべきである。

答 教育次長 連続使用の申し出により必要経費分くらい、園児一〇〇円の使用料を支払いたいと伺っています。条例では無料です。



相田一良 議員

幼稚園、小・中学校の 耐震化促進について



耐震補強工事が予定されている岩瀬西中学校

問 中国での大地震による建築物の崩壊により多数の犠牲者が出たことで、国は特に小・中学校の校舎に対して耐震改修へ急ピッチで動き出しましたが、当市では今後どのような方針で耐震化の促進を進めていくのか。

答 教育長 岩瀬西中、東中については、両校とも耐震度が基準を下回っており、安全性を確保する見地から、耐震補強工事の実施が必要であるとの結果が出ておりますので、平成二十一年度より順次、耐震補強工事を予定しています。

問 教育次長 校舎の耐震診断の予定、順序等については、今後計画的に実施していきたいと考えています。

小・中学校の統合について
問 児童生徒数の減少で小規模が進む小・中学校の統合に向けて、県教育委員会が矢継ぎ早に誘導策打ち出していますが、当市では統合についてどのように考えているのか。

答 教育長 少子化の傾向が続く中、当市においても園児、児童、生徒数が減少することが予想されますので、統合について現在検討委員会の設置に向け、設置要綱の策定委員の選考等準備を進めており、また市としての学校の適正規模や適正配置について十分検討いただき、今後の基本的考え方について答申をいただきたいと考えています。



菊池節子 議員

多目的複合施設(仮称)とは どのような建物なのか

問 「多目的複合施設(仮称)」の建設計画が進められています。社会教育法の規制を受ける(営利事業等)建物なのでしょうか。多目的とは具体的にどのような目的でしょうか。ワークシヨップ方式での決定が、そのまま市の決定となるのでしょうか。

答 市長 経費は約二億円です。公民館の役割を継承する施設で、社会教育法の規制を受けるものを想定しています。ワークシヨップの議論は基本的な方向性と考えています。



整備が進む岩瀬駅前

岩瀬駅前整備後のビジョンは?
問 岩瀬駅前の整備が進んでいます。「お金をかけた割には効果が少ないのではないか」との心配の声が聞かれます。整備後のビジョンを伺います。

答 市長 事後評価シート(整備後に国に提出する文書)は、まちづくり交付金の成果と実施過程等について評価原案として取りまとめ、住民に公表するものです。

後期高齢者医療制度：年金月額一・五万円未満は保険料免除を
問 後期高齢者医療制度は、自民党の中曽根元首相なども批判の声を上げています。年金月額一・五万円未満者への保険料全額免除と、未納者への保険証取り上げをやめるよう求めます。

答 市長 国も制度の見直しを検討しています。国の決定を受けて対応していきたい。

行政視察来庁 … 大分県由布市議会 …

視察日：平成20年5月19日(月)
来庁議会：大分県由布市議会
目的：市設置型合併浄化槽

市設置型合併浄化槽について 活発に意見交換

5月19日に、大分県由布市議会建設水道常任委員会の利光直人委員長ほか6名が、行政視察に来庁されました。

当議会からは、上野征一建設経済常任委員長、市からは告清嗣上下水道部長および下水道課担当者が同席し、生活環境の改善と河川などの公共用水域の保全を図るため、生活排水対策として市設置型合併浄化槽整備事業について視察研修されました。

これまで桜川市の取り組んできた事業について、上下水道部下水道課職員より説明があり、活発な意見交換等がされました。

